

中学校 第1学年 外国語（英語）学習指導案

日 時 平成29年〇月〇日（〇）
 第〇校時
 対 象 第1学年〇組 〇〇名
 学校名 〇〇〇立〇〇〇〇中学校
 授業者 〇〇〇〇

1 単元名

Lesson 8 “School Life in the USA”

2 単元の目標

- (1) 学んだ表現を使い、意欲的に言語活動に取り組む。
- (2) 今、人が何をしているかを説明したり尋ねたりする。
- (3) 学んだ新出表現を含むまとまりのある英文を読み、概要や要点を理解する。
- (4) 現在進行形の構造的な特徴について理解する。

3 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化につい ての知識・理解
①ペアによる言語活動に相手意識をもって積極的に取り組み、コミュニケーションを図っている。 ②聞き手が理解しやすくなるように、学校の紹介を工夫して話している。	①ペア活動において、現在進行形を用いて人が何をしているかを説明したり尋ねたりすることができる。 ②写真などを示しながら、現在進行形を含む英語で学校生活の様子を説明することができる。	①現在進行形を含むまとまりのある英文を読んで、概要を理解することができる。 ②現在進行形を含むメールを読んで、要点を理解することができる。	①現在進行形を用いた文の用法や語順を理解している。

4 指導観

(1) 単元観

本単元の題材は、アメリカの中学校生活である。単元前半は、クミと同じクラスのポールがアメリカの中学校生活について写真を見せながら紹介し、それに興味をもったクミがポールに質問をするという場面設定である。単元後半の長文を扱う「USE Read」では、アメリカの姉妹校に通うリサからのメールを読み、アメリカの中学校生活について理解を深める内容となっている。単元末の表現活動として、教科書では3つの英文を作って友達とクイズを出し合う「スリーヒントクイズ」を載せているが、アメリカと日本の学校生活を比較するよい機会なので、日本の学校紹介を行うことにした。実際の活動としては、部活動や委員会活動の様子について、写真やイラストの人物が何をしているかをALTに説明するビデオレターを作成する。作成したビデオの内容は、ALTが後日来校した際に一緒に評価してもらうが、生徒には各班のビデオレターを全員で視聴し、相互評価を行わせる。自分たちのビデオと他班のビデオを比較視聴することで、どうすれば情報や考えが相手によりよく伝わるプレゼンテーションとなるかについて考えさせる。

学習指導要領の取り扱いとしては、中学校学習指導要領（平成20年3月告示）の第2章、第9節、外国語より、言語活動として

(イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝える。
(第2 英語、2 内容、(1) 言語活動、イ 話すこと)

を実践する。

また、言語活動の取り扱いとして

c 情報を伝える ・説明する ・報告する ・発表する ・描写する など
(第2 英語、2 内容、(2) 言語活動の取り扱い、(ウ)、〔言語の働きの例〕)

を実践する。

言語材料としては

(エ) 動詞の時制など
現在形、過去形、現在進行形、過去進行形、現在完了形及び助動詞などを用いた未来表現
(第2 英語、2 内容、(3) 言語材料、エ 文法事項)

のうち、「現在進行形」を取り扱う。

単元を通し、現在進行形の表現を使って人物の行動を的確に英語で伝える力を育てるとともに、内容や場面に応じて適切に現在形と現在進行形を使い分けることで、表現に幅をもたせる。また、班で協力して紹介ビデオを作成する過程で、相手によりよく伝わる表現方法について工夫させる。スピーチやプレゼンテーションなどの発表力については、中学校の3年間をかけてじっくり育てていく。今回はその第一歩なので、生徒の気付きを引き出すことを重視する。

(2) 教材観

アメリカの学校生活を理解することが教材のテーマになっている。Lesson 6 “My Family” では英国の文化について、本単元の Lesson 8 ではアメリカの文化について学ぶ。Lesson 9 “Four Seasons” では日本の年中行事について学習する。本単元では異文化について、次単元では日本の伝統・文化について理解を深める。英国やアメリカの文化と日本の文化の違いや共通点に気付かせることで、日本の文化の価値や意義について考えるきっかけを与え、自国の文化を尊重する態度を育てるための構成となっている。そのための第一歩として、本単元では日本の学校生活を英語で紹介する活動を取り入れた。班ごとに工夫したプレゼンテーションをビデオ撮りしてALTに送り評価をしてもらう。したがって、教具としては主としてビデオカメラを使う。より良い作品にするために、一度撮影した動画を班員全員で視聴した後、改善点を話し合わせてから再度撮影させる。生徒には、自分たちの発表の様子を観察することで、相手に正確に情報を伝えたり、自分たちの考えや思いを適切に伝えたりするにはどうしたらよいかを考えさせる。

5 年間指導計画における位置付け

Lesson 1～6 では、be 動詞と一般動詞を含む現在形の表現に親しんできた。本単元では初めて現在進行形という新たな時制が登場し、次単元では過去形を学ぶ。現在進行形については、be 動詞と一般動詞が現在分詞の形で複合的に使われる。be 動詞と一般動詞では疑問文や否定文の作り方が異なるため、英語学習の初期段階において生徒は混乱しやすい。そのため繰り返し指導をしてきたが、今回のように複合的に使われる表現では、更に混乱が生じやすい。このような複合的な形の理解は、第2学年で学ぶ受身形の文や第3学年で学ぶ現在完了形の文の形につながっていく。そこで、文の形が自然に定着できるように、現在形と現在進行形の言語使用場面を明確にして指導を行う。

6 単元指導計画と評価計画（8時間扱い）

	ねらい	学習内容・学習活動	評価規準（評価方法）
第1時 （本時）	・GET 1の概要や要点を理解する。	・教師の口頭導入、リスニング、黙読、音読を通して教科書本文の概要や要点を理解する。	ウー①（活動の観察）
第2時	・現在進行形の用法や語順を理解する。 ・現在進行形を用い、ペアで言語活動を行う。	・現在進行形の文法的な特徴について、例文を通して理解する。 ・現在進行形を用い、絵の示している場面を相手に説明する。	エー①（活動の観察） イー①（ペア活動の視察）
第3時	・GET 2の概要や要点を理解する。	・教師の口頭導入、リスニング、黙読、音読を通して教科書本文の概要や要点を理解する。	ウー①（活動の観察）
第4時	・現在進行形の肯定文、疑問文、否定文を使って、ペアで言語活動を行う。	・現在進行形の疑問文を使って友人の動作について尋ねたり説明したりする。	アー①（ペア活動の観察） イー①（ペア活動の観察）
第5時	・USE Readの概要や要点を読み取る。	・アメリカの学校生活が書かれたメールを、タイムを計って黙読して概要を理解する。（Skimming） ・ポイント絞って黙読し、特定の情報を読み取って要点を整理する。（Scanning）	ウー②（活動の観察）
第6時	・音読を通してUSE Readの本文内容を自然に取り入れる。 ・ゴールは暗唱ではなく、絵やポイントの語句を見て言えるようにする。	・様々なやり方で音読する。 Buzz Reading, Phrase Reading, Overlapping, Read & Look-up 等 ・内容をイメージしながら何度も音読した後、本文ではなく絵やヒントの語句を見て自分の言葉で再現する。	ウー②（活動観察） ※学校紹介のプレゼンテーションへ向けた準備と練習なので、形成的評価を行って励ますが、総括的評価は行わない。
第7時	・現在進行形を使って学校生活の活動の様子を説明する。	・班ごとに工夫を凝らし、学校生活の様子を伝えるビデオレターを作成する。	アー②（活動の観察） イー②（ビデオ視聴）
第8時	・プレゼンテーションの工夫について考える。	・各班のビデオを全員で視聴し、相互評価を行う。	※生徒同士が相互に評価することで自己を振り返ることが目的なので、行動観察は行うが総括的な評価は行わない。

7 指導に当たって

(1) 授業形態の工夫

- ・少人数クラスの編成については習熟度別とはせず、発展的な学習に対応できる生徒と学習の習得に時間を要する生徒を混在させている。習熟度の異なる生徒が互いに学び合うことで学習への意欲が高まり、学習効果が向上するという考えに基づいている。
- ・ペアの組み合わせについても、クラス分けと同様の考え方にに基づき、座席の配置を工夫している。

(2) 指導方法の工夫

- ・生徒の主体性を高めるため、教師が一方的に目標を与えるのではなく、生徒自身に考えさせるようにしている。

- ・授業の終わりには、目指した目標が達成できたかを必ず振り返らせている。できたこと・できなかったことを含めて自己を冷静に振り返ることで、次時の目標につなげさせる。
 - ・題材についての背景知識を活性化するため、題材について自由に意見交換をしたり、授業導入時に写真や映像を見せてイメージを膨らませたりすることでブレインストーミングを行っている。
 - ・従来は新出文法事項の導入に1時間、教科書内容理解に1時間という流れで指導していた。しかし、新出表現であっても、本文の文脈から意味内容を推測することが可能である。そこで、指導の順序を入れ替え、教科書内容理解を通して新出表現の用法や意味を推測させ、文の形は後で理解させるという授業の流れで指導している。
 - ・ペア活動を軸にして授業を行っているが、発問をした際はまずは個人で考えさせ、次にペアで考えをシェアすることで考えが深められるようにしている。
 - ・生徒の気付き引き出すため、答えをすぐに求めず考える時間を十分に確保するようにしている。
 - ・単元のまとめとして、学習した表現を用いた表現活動を單元ごとに必ず設定している。
- (3) 教材・教具の工夫
- ・アルファベットを指導する初期の段階から、副教材を使ってフォニックスの基礎を教えている。英語特有の音素や音のつながりについても、付属のCDを使い継続してリスニングの指導している。(聴覚訓練)
 - ・英語特有のリズムや音のつながりを体感させるため、帯活動で毎回チャンツを取り入れている。音読練習だけでは得られない英語らしい発音やイントネーションが自然に身に付く。(体感覚訓練)
 - ・プレゼンテーションソフトをプロジェクターに投影して視覚情報を与えることで、生徒の気付きを引出しながら教師の説明を最小限にしている。投影する内容としては、絵・写真などの「象形視覚情報」と、文字・語句・文章などを分かりやすく提示する「文字視覚情報」を意図的に区別して、目的に応じて適宜活用するようにしている。
 - ・教師の日本語での発話を最小限にするため、日本語の質問やタスクはプレゼンテーションソフトで投影する。
 - ・生徒に顔を上げて音読させるため、教書本文をスクリーンに投影する。
 - ・生徒にビデオカメラを持たせ、自分が英語を話す姿を撮影し視聴させることで、改善点を自分で見付けさせている。

8 本時（全8時間中の第1時間目）

(1) 本時の目標

- ・新出表現を含む本文内容について、既習の知識や想像力を働かせて概要や要点を理解する。

(2) 本時の展開

	○学習内容 ・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
挨拶 ・ 帯活動	<p>○挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師から生徒に語りかける。 ・横ペアでHow are you? に加えてもう1つ質問をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: Hi. How are you? B: I'm ~. How are you? A: I'm ~. (例) By the way, what ~ do you like? B: I like ~. How about you? A: I like ~.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・横ペアで得た情報を、縦ペアに報告する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: Hi. B likes ~. B: Hi. A likes ~.</p> </div> <p>○ウォーミングアップ（帯活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを発話する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・帯活動は全て英語で行い、意識を英語モードに切り替えさせる。 ・教師の目を見て挨拶させる。 ・アイコンタクトと自然な表情を意識させる。 <p>主語が三人称単数に変わるので、動詞の変化に留意させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音のつながりに気を付け、正しい強勢で英語らしく発話させる。 ・英語特有のリズムを身に付けるだけでなく、照れずに英語らしく発音することに慣れさせる。 	
導入 ・ 展開	<p>○本時の流れと目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の流れを確認する。 ・本時のテーマを確認する。 <p>○ブレインストーミング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の題材について、映像を見る。 <p>○オーラル・イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲示された絵、教師の表情やジェスチャーなどを手がかりにして、分からない語句があっても想像力を働かせながら教師の英語を聞き取る。 <p>○リスニングによる概要把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の見通しをもたせる。 ・テーマから学習内容についてのイメージを抱かせる。 ・背景知識を活性化させるため、映像を見せながら生徒の気付きや考えを引き出す。 ・教科書は閉じたままにさせる。 ・インタラクションでは、一部の生徒とのやり取りにならないようにする。 発問 → 考えさせる → ペアでシェアする → 挙手して発言させる ・新出語句や新出表現を意図的に織り交ぜながら、意味を捉えさせる。 ・教科書の閉本を確認する。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文のCDを聞き、タスクについて考える。 1回目：何の授業ですか。 2回目：生徒Aは何をしていますか。 3回目：生徒Bは何をしていますか。 ※タスクはスクリーンに映し出す。 <p>○黙読による内容理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1分間黙読し、タスクについて考える。 ①生徒Aがしていることを示す英文に下線を引く。 ②生徒Bがしていることを示す英文に下線を引く。 ・1分間黙読し、タスクについて考える。 ①クラスの生徒がしていることを示す英文に下線を引く。 ②グループでしていることを示す英文に下線を引く。 ・深い内容について考える。 →日本の学校の授業と異なるところはどこですか。 <p>○音読</p> <ul style="list-style-type: none"> ①Phrase Reading (教師の後についてリピート) ②Overlapping (音読の到達目標を知る) ③Buzz Reading (回数ではなく、時間で区切る) ④Pair Reading (よい点・改善点を指摘し合う) ⑤Overlapping (進歩の跡を体感する) ⑥Screen Reading (スクリーン上でフラッシュしたり、一部語句が消えたりしている英文を読む) 	<ul style="list-style-type: none"> ・指示は英語で行うが、ペアでの相談は日本語の使用を可とする。 ・3回聞かせることを事前に告げる。 ・それぞれ回ごとに、タスクを与える。 ・タスクはペアでシェアさせてから発言させ、全体でシェアする。 ・次の黙読で意味を再度確認するので、正しく答えられなくてもよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を開かせる。 ・タイマーで計測する。 ・下線を引いた英文について、ペアで読み方を相談させてから、答えさせる。正確に発音できなくてもよい。 ・ペアで答えを確認させる。 ・文法的な説明は次時に行うので、今回は意味・内容が分かればよい。 ・グループで何をしているのか考えさせ、全体でシェアする。 ・生徒の発想を尊重し、答えを限定しない。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を手に持ち、顔を上げて音読させる。 ・教師は全体が見渡せる位置に立って動かず、生徒の音声をモニターする。 ・単に読み方の練習をするのではなく、音読を通して内容把握が深まるように、意味を思い浮かべながら読ませる。 ・聞き手に内容が伝わるようにするため、強勢、イントネーション、区切りを意識して音読させる。 ・生徒が自宅で音読練習がしたくなるように、褒め励まし、達成感をもたせる。 	<p>ウー① 現在進行形を含む英文を読んで、概要や要点を理解することができる。(活動の観察)</p>
--	--	--

<p>まとめ</p>	<p>○本時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに記入する。 ①自己の目標の達成度 ②よくできたこと ③できなかったこと、分からなかったこと ④次にやりたいこと <p>○挨拶</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の言葉で言語化させる。 ・客観的に自己の姿を見つめさせる。 ・達成感をもたせる。 ・何が分からないか発見できたことを評価する。 ・次時への意欲につなげさせる。 <p>・笑顔で終わる。</p>	
------------	---	--	--

(3) 板書計画

<p>January ○th</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><Menu></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Greetings ・Chants ・Today's Goal ・Teacher Talk ・Listening ・Silent Reading ・Guess Meanings ・Reading Aloud ・Look Back ・Greetings </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>Today's Theme: School life in the USA.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>Today's Goal: (※個々に考えさせる)</p> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-right: 10px;">絵</div> <p>生徒A</p> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-right: 10px;">絵</div> <p>生徒B</p> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-right: 10px;">絵</div> <p>グループの様子</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><スクリーン></p> <p>投影内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの学校生活映像 ・オーラル・イントロダクションのときに示す絵や写真 ・タスク（日本語） ・下線を引いた英文 ・教科書本文（全文、一部語句欠落、フラッシュ） </div>